

豚コレラ(国内39例目)

愛知県で

疑似患畜が確認されました

<発生施設の概要>

所在地:愛知県豊田市 飼育頭数:247頭

<経緯>

愛知県は、8月29日(木)、国内35例目の移動制限区域内にある農場の清浄性確認検査を行うため、立入検査を実施したところ、豚コレラの疑いが生じたため精密検査を実施。本日(8月31日(土))、豚コレラの疑似患畜であることが判明しました。

生産者、畜産関係者の皆様には、
以下の対策の徹底を改めてお願いします。

- 1) 消毒による人・車両等を介した**ウイルスの侵入防止**
対策
- 2) 飼養衛生管理区域**専用の服及び長靴の着用**
- 3) 野生動物との接触防止等、**飼養衛生管理基準の遵守**
- 4) 飼養豚の毎日の健康観察による**早期発見・早期通報**

異常を見つけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで

電話:055-262-3166 FAX:055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先:090-5535-8005

土日・休日の連絡先:090-5544-7868

豚コレラ

2018年9月以降
日本で発生中

特徴的な症状は無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑 (チアノーゼ)



身を寄せ合い積み上がる様子
(パイルアップ)



犬座姿勢



耳翼の紫斑 (チアノーゼ)



身を寄せ合い積み上がる様子
(パイルアップ)



結膜炎

写真出典:岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

【豚コレラの特定疾患】

- 耳翼、下腹部、四肢等に紫斑がある。
- 同一の畜舎内において、次のいずれかの症状を示す豚等が増加する。
 - ・摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退
 - ・便秘、下痢
 - ・結膜炎(目やに)
 - ・歩行困難、後躯麻痺、けいれん
 - ・削瘦、被毛粗剛、発育不良(ひね豚)
 - ・流死産等の異常産の発生
 - ・血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑
天然孔からの出血、血便

症状が明確になるまで時間がかかります。
飼養豚の毎日の丁寧な健康観察による異常の
早期発見・早期通報をお願いします!